

## 平成 25 年度 県立上溝高等学校不祥事ゼロプログラム検証結果

県立上溝高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、前年度の取組み・点検を踏まえ、平成 25 年度の不祥事ゼロプログラムを定め、次のとおり取り組んだ。		
課題	目標	検証結果
①公務外非行の防止 (法令遵守意識の向上)	○法令を遵守し、公私の別を明らかにして、生徒・保護者・県民の信頼を得る。	○業務に関係ないサイトやブログ・ツイッター等の閲覧禁止を徹底した。 ○教育公務員の立場を常に自覚して生徒・保護者に対して職責を果たす意識の強化を図った。 ○会議等において啓発資料をもとに法令遵守意識の向上を図った。
②セクハラ、わいせつ行為の防止	○人権感覚を身につけ、セクハラ、わいせつ行為の発生を未然に防止する。	○外部講師を招き、人権研修会を実施するとともに、校内人権相談窓口の活用を図った。 ○携帯電話や電子メール等による不適切な連絡行為防止の徹底を図った。 ○教職員の人権感覚を養うため、教職員全員を対象にして職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。
③体罰、不適切な指導の防止	○生徒の人権を尊重し、体罰や不適切な指導の発生を未然に防止する。	○教員・保護者の連絡を密にし、情報を共有した。 ○生徒指導等の指導状況を常に記録した。 ○生徒への指導は記録に残した。 ○電子メールの不適切な使用を行わないよう徹底した。 ○教職員の人権感覚を養うため、教職員全員を対象に職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。
④会計事務等の適正執行 (備品の現物照合、公費、私費、現金管理)	○備品管理の適正化を推進する。 ○不適正経理を防止する。 ○不適切な現金取扱を防止する。	○備品の現物照合を適切に行った。 ○会計事務等の適正執行の徹底を図った。 ○私費会計基準に則った会計処理の徹底を図った。 ○教職員全員を対象に職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。
⑤個人情報等の管理・情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	○個人情報の流出を未然に防止する。 ○外部記憶媒体の紛失等を防止する。 ○インターネットの適正利用を図る。	○鍵のかかる場所に保管し定期的にチェックした。 ○保管期間の終了を複数で確認の上、廃棄した。 ○個人情報持ち出し手続の励行を徹底した。(携帯電話等への登録も同様とした。) ○私物のUSBメモリの持ち込み禁止、貸出しUSBメモリの管理を徹底した。 ○教職員全員を対象にして職場研修を実施した。 ○定期的にチェックを行い、啓発に努めた。
⑥交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通事故の発生を未然に防止する。 ○酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	○「交通事故防止」「飲酒運転は同乗者も免職」等の注意を徹底した。 ○教職員全員を対象に職場研修を実施し、交通安全意識の向上を図った。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。

⑦業務執行体制の確保等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書類の整理・保管を徹底する。</li> <li>○危機管理意識の徹底と不祥事防止を図る。</li> <li>○業務遂行の無理をなくし、適正な業務遂行環境を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の書類整理に努めた。</li> <li>○文書保管キャビネット等への保管を徹底した。</li> <li>○適切な起案・決裁等の処理を行った。</li> <li>○危機管理意識を喚起し、不祥事の未然防止を徹底した。</li> <li>○管理職・総括教諭への報告・連絡・相談体制、協力体制の確立を図った。</li> <li>○教職員全員を対象にして職場研修を実施した。</li> <li>○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。</li> </ul>
⑧調査書・通知表等の作成、成績処理に係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調査書・通知表作成・点検、成績処理に係るマニュアルに基づき、適切な処理を徹底し事故を未然に防止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調査書・通知表及び成績処理マニュアルに基づき作成するとともに複数の担当者による点検等を徹底した。</li> <li>○教職員全員を対象にして職場研修を実施した。</li> <li>○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。</li> </ul>
⑨試験問題の作成及び試験実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○過去に出題した問題と同一にならないようにするとともに、実施上のトラブルを未然に防止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期試験は、毎回新規に作成した。</li> <li>○過去に出題した問題を使用する場合は、設問や解答内容等を変えて出題した。</li> <li>○問題用紙や解答用紙の印刷状態を毎回確認した。</li> <li>○問題、解答用紙は鍵のかかる場所に保管した。</li> <li>○試験終了時に受験者数と回収した解答用紙の枚数を確認した。</li> </ul>

#### 検証及び評価

上溝高等学校としての「不祥事防止ゼロプログラム」を、企画会議を中心に全教職員の協力のもとで共通理解を図り策定した。今後も、このプログラムをもとに実効性のある会議・研修等を通じ不祥事の防止に努めていきたい。

各種研修等での不祥事防止に関わる内容については、毎月2回開催する事故防止会議で報告し、教職員への周知徹底を図った。総括教諭を中心にグループ会議での徹底や、朝の打ち合わせなどでも新聞記事や啓発資料等をタイムリーに利用して「いつでもどこでも不祥事防止」を全職員が徹底できるようにした。

平成23年12月22日の緊急事故防止会議以降、朝の職員打ち合わせにおいて、管理職が日常的に注意喚起を呼びかけるなど、日頃より事故防止の意識を喚起した。今後も、継続的に取り組んでいく。

#### 実施結果

検証を踏まえ「実施結果」を取りまとめるうえ、教育局行政課の求めに応じ、実施結果を報告する。

#### 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、企画会議がこれを行った。